

【令和 4 年度県計画（変更案）】

医療介護総合確保促進法に基づく県計画
（介護分）

令和 5 年 9 月
愛媛県

1. 計画の基本的事項

(1) 計画の基本的な考え方

本県の令和5年4月1日現在の65歳以上の高齢者数は44.2万人（県人口の33.45%）、うち75歳以上の高齢者数は23.3万人（県人口の17.5%）であるが、今後、65歳以上の高齢者数は、令和7年には44.6万人（県人口の35.0%）、令和22年には43.2万人（県人口の40.0%）となると見込まれるなど、全国平均を上回るペースで高齢化が進行すると推計されている。

こうした状況を踏まえ、本県では、超高齢社会の到来による様々な課題に対し、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービスを総合的に確保するとともに、高齢者が重度の要介護状態となっても、可能な限り、住み慣れた地域で安心して日常生活が継続できる社会を実現する必要がある。

そこで、本計画の策定により、高度急性期（急性期）を中心に人的・物的資源を効率的に投入して、早期の地域社会への復帰を実現するとともに、受け皿となる地域の在宅医療の充実を図るほか、医療従事者の負担軽減にも十分配慮し、関係団体等との連携のもと、愛媛らしい医療提供体制を構築し、平成28年3月に策定した地域医療構想の実現に向け取り組むこととしている。

また、介護分野についても、本計画の策定により、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス等、地域の実情に応じた介護サービス提供体制整備の促進を支援するほか、質の高い介護人材の安定的な確保・定着にも積極的に取り組むこととしている。

(2) 都道府県医療介護総合確保区域の設定

愛媛県における医療介護総合確保区域については、宇摩圏域（四国中央市）、新居浜・西条圏域（新居浜市、西条市）、今治圏域（今治市、越智郡（上島町））、松山圏域（松山市、伊予市、東温市、上浮穴郡（久万高原町）、伊予郡（松前町、砥部町））、八幡浜・大洲圏域（八幡浜市、大洲市、西予市、喜多郡（内子町）、西宇和郡（伊方町））、宇和島圏域（宇和島市、北宇和郡（松野町、鬼北町）、南宇和郡（愛南町））の地域とする。

2次医療圏及び高齢者福祉圏域と同じ

2次医療圏及び高齢者福祉圏域と異なる

（異なる理由： _____ ）

(3) 計画の目標の設定等（介護関係）

■愛媛県全体

1 目標

本県においては、医療介護総合確保区域の課題を解決し、高齢者が地域において、安心して生活できるよう以下を目標に設定する。

○介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護保険事業支援計画において予定している地域密着型サービス施設等の整備等を行うとともに、介護療養型医療施設等から介護老人保健施設等への転換整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・認知症高齢者グループホーム 4,185 床（253 カ所）→ 4,194 床（254 カ所）
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 67 床（8 カ所）→ 76 床（9 カ所）
- ・広域型施設の大規模改修・耐震化 30 床（1 カ所）→ 85 床（2 カ所）
- ・介護医療院（介護療養型医療施設から転換）570 床（13 カ所）→ 578 床（14 カ所）
- ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 66 床（3 カ所）→ 192 床（6 カ所）
- ・看取環境の整備 2 カ所 → 9 か所
- ・簡易陰圧装置の設置 5 カ所 → 52 カ所
- ・ゾーニング環境等の整備 0 カ所 → 2 カ所
- ・家族面会室等の整備 0 カ所 → 13 か所 ※令和3年度からの繰越分
- ・多床室の個室化改修 0 カ所 → 1 か所
- ・特別養護老人ホーム（30人以上） ※開設のみ 2,174 床（34 カ所）→ 2,224 床（34 カ所）
- ・介護施設等の大規模修繕の際に合わせて行う介護ロボット・ICTの導入
0 床（0 カ所）→ 244 床（4 カ所）
- ・養護老人ホーム（30人以上）※開設のみ 6,535 床（109 カ所）→ 6,535 床（109 カ所）

○介護従事者の確保に関する目標

本県においては、県内の労働市場の動向も踏まえ、①介護の魅力の若年層等へのアピール、きめ細かいマッチングなどの「参入促進」、②地域包括ケアシステム構築のための人材や介護サービスの質を高めるための人材の「資質の向上」、③介護職員の早期離職防止、定着促進などの「労働環境の改善」等の対策を一体的に進める。

【定量的な目標値】

本県で将来必要となる介護職員等の必要数を、県内市町のサービス見込量を基に推計したところ、団塊の世代が後期高齢者となる令和7（2025）年には32,533人となることから、需要を満たすため、8期介護保険事業支援計画期間以降は年間138人の介護職員の増加を目標とし、次の事業を実施する。

(参考) 8期介護保険事業支援計画

	平成28年	令和元年	令和5年	令和7年
需要見込人数			31,682	32,533
供給見込人数	27,746	31,567	31,592	31,043
差引不足人数			90	1,130

※令和元年以前は厚生労働省調査、令和5年以降は厚生労働省「介護人材受給推計ワークシート」より算出

※ (32,533人-31,567人) ÷ 7 ⇒ 138人/年

- ・福祉・介護人材確保対策事業（協議会設置等）協議会開催 年2回
- ・外国人介護人材受入連携強化事業（協議会設置）連携会議開催 年2回 等
- ・福祉・介護人材確保対策事業（介護等の仕事魅力発信事業）テレビCM年40回
- ・介護の仕事魅力発信事業（介護現場からの発信）イベント参加者1,350名
- ・働く家族の介護力強化事業 経営者・人事管理者・働く家族・従業者向けセミナー 年10回 等
- ・福祉・介護人材確保対策事業（介護等の仕事魅力発見事業）参加者 計410名
- ・介護雇用プログラム推進事業 派遣人数 40名
- ・介護員養成研修受講促進事業 受講助成者数100名
- ・福祉・介護人材確保対策事業（介護等人材マッチング事業）支援員派遣 各所月1回
- ・介護に関する入門的研修受講促進事業 参加者100名
- ・地域の介護人材参入・定着促進事業（介護人材就労支援事業）OJT研修参加者40名
- ・外国人留学生介護福祉士候補者学習支援事業 受入人数40名
- ・外国人介護人材マッチング支援モデル事業 現地合同説明会 年2回
- ・口腔ケアに係る介護人材資質向上支援事業 参加者580名
- ・介護人材キャリアアップ支援事業 研修参加者500名
- ・介護職員の資質向上研修事業 研修参加者100名
- ・介護職員で働く看護職員の研修支援事業 研修参加者220名
- ・介護支援専門員養成研修等事業 検討会開催 年2回 等
- ・ノーリフティングケア普及啓発モデル事業 啓発研修 県内100名
- ・介護職員等資質向上支援事業 代替派遣人数30名
- ・介護福祉士等応援コミュニティ設置等事業 ミーティングの開催等
- ・認知症地域医療支援事業 認知症サポート医養成研修受講 10名 等
- ・認知症介護従事者養成事業 管理者研修受講 200名 等
- ・認知症対応力向上研修事業 研修受講 780名
- ・介護情報提供体制構築事業 スマホアプリ登録者数 7,200件
- ・法人後見推進事業 個別指導実施団体 5団体 等
- ・現任介護サービス相談員研修 研修修了者 50名
- ・福祉・介護関係事業所合同入職式 入職式の開催 参加者200名
- ・ICT活用による介護職場環境改善支援事業 アドバイザー派遣 50事業所
- ・介護業務支援機器導入促進事業 介護ロボット434台導入
- ・ICT機器導入促進事業 ICT機器を31事業所に導入
- ・介護事業所等サービス提供体制確保事業 感染症対策を行う事業所への支援

2. 計画期間

令和4年4月1日～令和6年3月31日

■宇摩圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 0床(0カ所) → 9床(1カ所)
- ・簡易陰圧装置の設置 0カ所 → 2カ所

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■新居浜・西条圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・養護老人ホーム(30人以上)※開設のみ(移転改築) 220床(4カ所) → 220床(4カ所)
- ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 0床(0カ所) → 10床(1カ所)
- ・ゾーニング環境等の整備 0カ所 → 1カ所

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■今治圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・養護老人ホーム(30人以上)※開設のみ(移転改築) 220床(4カ所) → 220床(4カ所)
- ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 0床(0カ所) → 10床(1カ所)
- ・ゾーニング環境等の整備 0カ所 → 1カ所

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■松山圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・認知症高齢者グループホーム 2,414床(144カ所) → 2,423床(145カ所)
- ・介護医療院(介護療養型医療施設から転換) 146床(4カ所) → 154床(5カ所)
- ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 66床(3カ所) → 122床(4カ所)
- ・広域型施設の大規模改修・耐震化 30床(1カ所) → 85床(2カ所)
- ・介護施設の看取り環境の整備 1カ所 → 8カ所

- ・簡易陰圧装置の設置 0カ所 → 27カ所
- ・ゾーニング環境等の整備 0カ所 → 1カ所
- ・家族面会室等の整備 0カ所 → 13カ所 ※令和3年度からの繰越分
- ・多床室の個室化改修 0カ所 → 1カ所
- ・特別養護老人ホーム (30人以上) ※開設のみ
2,174床 (34カ所) → 2,224床 (34カ所)
- ・介護施設等の大規模修繕の際に合わせて行う介護ロボット・ICTの導入
0床 (0カ所) → 244床 (4カ所)

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■八幡浜・大洲圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 0床 (0カ所) →60床 (1カ所)
- ・ゾーニング環境等の整備 0カ所 → 2カ所

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

■宇和島圏域

① 介護施設等の整備に関する目標

地域包括ケアシステムの構築に向けて、第8期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。

【定量的な目標値】

- ・簡易陰圧装置の設置 0カ所 → 24カ所 ※1カ所は令和3年度からの繰越し整備
- ・ゾーニング環境の整備 0カ所 → 2カ所※1カ所は令和3年度からの繰越し整備
- ・多床室の個室化改修 0カ所 → 1カ所 ※令和3年度からの繰越し整備

② 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(4) 目標の達成状況

—

2. 事業の評価方法

(1) 関係者からの意見聴取の方法

【これまでの調整状況】

(介護関係)

- | | | |
|-------|---------|---------------------------|
| ・令和3年 | 8月16日 | 介護関係団体に対し事前要望調査を実施 |
| | 8月～11月 | 介護関係団体と個別にヒアリングを実施 |
| | 11月～12月 | 予算編成作業（事業選定、関係団体等との協議・調整） |
| ・令和4年 | 8月15日 | 介護関係団体に対し事前要望調査を実施 |
| | 8月～11月 | 介護関係団体と個別にヒアリングを実施 |
| | 11月～12月 | 予算編成作業（事業選定、関係団体等との協議・調整） |

(2) 事後評価の方法

計画の事後評価にあたっては愛媛県保健医療対策協議会、愛媛県高齢者保健福祉計画等推進委員会あるいは各分野に関して設置されている協議会等の意見を聞きながら評価を行い、必要に応じて見直しなどを行うなどにより、計画を推進していきます。

3. 計画に基づき実施する事業

(事業区分3：介護施設等の整備に関する事業)

(1) 事業の内容等

都道府県

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業					
事業名	【No.1 (介護分)】 介護基盤整備事業 介護施設開設準備経費助成事業	【総事業費 (計画期間の総額)】 701,526 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	宇摩圏域、新居浜・西条圏域、今治圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域					
事業の実施主体	民間事業者					
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が住み慣れた地域で暮らせる社会づくりを推進する。 アウトカム指標： 地域密着型サービス施設等の定員総数 18,946人					
事業の内容	①地域密着型サービス施設等の整備等に対する助成を行う。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <th colspan="2">整備予定施設等</th> </tr> <tr> <td>広域型施設の大規模改修・耐震化</td> <td>30床 (1カ所)</td> </tr> </table> ②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。 ③介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修に対して支援を行う。 ④介護施設の看取り環境の整備に対して支援を行う。 ⑤新型コロナウイルス感染拡大防止対策に対する支援を行う。		整備予定施設等		広域型施設の大規模改修・耐震化	30床 (1カ所)
整備予定施設等						
広域型施設の大規模改修・耐震化	30床 (1カ所)					
アウトプット指標	地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。 【定量的な目標値】 量的な目標値】 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者グループホーム 4,185床 (253カ所) → 4,194床 (254カ所) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 67床 (8カ所) → 76床 (9カ所) ・広域型施設の大規模改修・耐震化 30床 (1カ所) → 85床 (2カ所) ・介護医療院 (介護療養型医療施設から転換) 570床 (13カ所) → 578床 (14カ所) ・既設の特養多床室のプライバシー保護のための改修 66床 (3カ所) → 192床 (6カ所) ・看取環境の整備 2カ所 → 9カ所 ・簡易陰圧装置の設置 5カ所 → 52カ所 ・ゾーニング環境等の整備 0カ所 → 2カ所 ・家族面会室等の整備 0カ所 → 13カ所 ※令和3年度からの繰越分 ・多床室の個室化改修 0カ所 → 1カ所 					

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（30人以上） ※開設のみ 2,174床（34カ所）→ 2,224床（34カ所） ・介護施設等の大規模修繕の際に合わせて行う介護ロボット・ICTの導入 0床（0カ所）→ 244床（4カ所） ・養護老人ホーム（30人以上） ※開設のみ 6,535床（109カ所）→ 6,535床（109カ所） ※移転改築 						
	地域密着型サービス施設等の整備を行うことにより、県内の地域密着型サービス施設等の定員総数を増とする。						
事業に要する費用の額	事業内容	総事業費 (A+B+C) (注1)	基金		その他 (C) (注2)		
			国(A)	都道府県 (B)			
	①地域密着型サービス施設等の整備	(千円) 129,240	(千円) 86,160	(千円) 43,080	(千円) 0		
	②施設等の開設・設置に必要な準備経費	(千円) 245,184	(千円) 163,456	(千円) 81,728	(千円) 0		
	③介護保険施設等の整備に必要な定期借地権設定のための一時金	(千円) 60,300	(千円) 40,200	(千円) 20,100	(千円)		
	④介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修	(千円) 24,500	(千円) 16,333	(千円) 8,167	(千円)		
	金額	総事業費(A+B+C)		(千円) 701,526	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注3) (注4)	公	(千円) 0
		基金	国(A)	(千円) 467,684		民	(千円) 467,684 うち受託事業等 (再掲) (千円)
			都道府県(B)	(千円) 233,842			
			計(A+B)	(千円) 701,526			
その他(C)		(千円) 0					
備考(注5)	上記事業費中に、27年度補正分から充当する国費は含んでいない。						

(注1) 事業者が未定等のため、総事業費が不明の場合は、記載を要しない。

(注2) 事業者が未定で、事業者負担額が不明の場合は、記載を要しない。

(注3) 事業主体が未定で、かつ、想定もできない場合は、記載を要しない。

(注4) 指定管理者制度の活用など設置主体が「公」で、施設の運営が「民」の場合、基金充当額(国費)における公民の別としては、「公」に計上するものとする。

(注5) 備考欄には、複数年度にまたがり支出を要する事業の各年度の基金所用見込額を記載すること。

(2) 事業の実施状況

--

3. 計画に基づき実施する事業

(事業区分5：介護従事者の確保に関する事業)

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 基本整備 (中項目) 基盤整備 (小項目) 介護人材確保対策連携強化事業 (協議会設置等)					
事業名	【No.1 (介護分)】 福祉・介護人材確保対策事業 (協議会設置)			【総事業費 (計画期間の総額)】 3,208 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県					
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)					
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	増加する福祉・介護人材の需要に対して、効果的な人材確保対策を実施するため、関係機関の連携体制を構築し、既存事業の改善及び新規事業の検討を行う。					
	アウトカム指標：既存事業の改善状況及び新規事業の実施状況					
事業の内容	県社会福祉協議会を中心として、行政関係者、有識者、種別協議会、事業所、その他関係機関における検討会議を開催し、介護現場で必要とされる人材確保について計画的な取組強化を検討、実現するため連携等に取り組むほか、福祉人材センターにコーディネーターを配置し、介護等人材に係る分析データを関係機関等に提供し関係機関が連携し検討を進める。					
アウトプット指標	協議会の開催回数：年2回					
アウトカムとアウトプットの 関連	協議会の場で対面による議論をすることにより、連携を深め、既存事業及び新規事業の内容の充実につながる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 3,208	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
		基金	国(A)	(千円) 2,139		
			都道府県 (B)	(千円) 1,069	民	(千円) 2,139
			計 (A+B)	(千円) 3,208		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			その他(C)	(千円)		(千円) 2,139
備考 (注3)	(執行額) R4：3,208 千円					

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 基本整備 (中項目) 基盤整備 (小項目) 介護人材確保対策連携強化事業 (協議会設置等)								
事業名	【No. 2 (介護分)】 外国人介護人材受入連携強化事業 (協議会設置)				【総事業費 (計画期間の総額)】 7,323 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	受入施設側の理解促進や外国人介護人材の不安解消を図るための総合支援窓口として「愛媛県外国人介護人材支援センター」を設置する。								
	アウトカム指標：外国人介護人材の受入数								
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受入連携会議の開催 (外国人介護人材に関して行政、職能団体、有識者等で制度や取組状況等の情報交換を行う。) ・相談窓口の設置や巡回相談 (相談員による窓口相談や定期的な巡回相談を実施し、施設側・外国人材側双方の悩みや課題の解決に繋げる。) ・各種セミナーの実施 (受入制度の理解促進を図るための研修会や外国人のケア等に関するセミナーを実施する。) ・外国人介護人材の交流会の実施 (職場を超えたネットワークの構築によりモチベーション向上を図る) 								
アウトプット指標	連携会議：年2回、巡回訪問回数：月4回程度、セミナー年3回 交流会：年2回								
アウトカムとアウトプットの関連	愛媛県外国人介護人材支援センターを中心に各種事業を実施することにより、施設側の受入制度の理解促進や環境整備が進むとともに、受入人材の悩みや不安解消が図られ、外国人介護人材受入の円滑化につながる。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		7,323			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)	
		基金	国 (A)	(千円)				4,882	4,882
			都道府県 (B)	(千円)				2,441	
	計 (A+B)	(千円)	7,323	4,882					
備考 (注3)	(執行額) R4 : 4,882 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域における介護のしごと魅力発信事業						
事業名	【No. 3 (介護分)】 福祉・介護人材確保対策事業 (介護等の仕事魅力発信事業)				【総事業費 (計画期間の総額)】 8,610 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県						
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)						
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	福祉・介護人材の需要が増加する中で、福祉・介護業界の魅力発信、イメージ向上を図り、将来の人材確保につなげる。						
	アウトカム指標: 介護分野や介護の仕事に対する理解度や意識の向上						
事業の内容	介護の日の前後1週間を中心に、テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディアを通じて、福祉・介護の仕事の魅力が伝わるようなキャッチーな広告を広く県民に発信するほか、介護職にまつわる感動エピソードを映像化し、インターネット番組等を活用して広く発信することにより、介護のイメージアップを図る。						
アウトプット指標	各媒体の広告回数: テレビCM 年40回						
アウトカムとアウトプットの 関連	中高生をはじめとする地域住民に対して、様々な媒体で福祉・介護の仕事の魅力に触れる機会を設けることで、福祉・介護への理解を深め、将来の従事者の増加を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)
		(A+B+C)		8,610			
		基金	国(A)	(千円)			
			都道府県 (B)	(千円)			5,740
			計 (A+B)	(千円)			8,610
その他(C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)	5,740	
備考(注3)	(執行額) R4: 8,610 千円						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域における介護のしごと魅力発信事業								
事業名	【No.4 (介護分)】 介護の仕事魅力発信事業 (介護現場からの発信)				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,357 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県老人福祉施設協議会)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	増加を続ける介護サービス需要に対応するため、介護サービスを担う次世代の人材の確保を図る。								
	アウトカム指標: 次世代の介護人材の確保								
事業の内容	介護職員養成校、施設、地域が一体となって、福祉の仕事の魅力、福祉体験を通じて理解と興味を発見し、「社会介護」の必要性について生活を通じて実感してもらい、次世代を担う介護人材の育成を目的に、協働での「介護の日啓発イベント」及び福祉・介護の理解促進のための「巡回型介護教室」を実施する。								
アウトプット指標	介護の日啓発イベント等 12回 参加者 1,350名								
アウトカムとアウトプットの関連	介護の日の啓発や小中学生等に対して介護の魅力を発信することで、次世代を担う介護人材の確保につなげる。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)			
		(A+B+C)		3,357					
		基金	国(A)	(千円)		2,238	民	(千円)	
			都道府県(B)	(千円)				1,119	2,238
			計(A+B)	(千円)				3,357	うち受託事業等 (再掲)(注2)
その他(C)		(千円)			(千円)				
備考(注3)	(執行額) R4: 3,357千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域における介護のしごと魅力発信事業							
事業名	【No.5 (介護分)】 働く家族の介護力強化事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 15,755 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県法人会連合会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	現役で働く家族 (現役の労働者) の既存の普及啓発事業への参加率は低く、介護に関する情報や支援が届かないことが現在課題となっていることから、働く家族向けに特化したセミナー等の開催により、現役世代の介護への理解促進を図る。							
	アウトカム指標: セミナーやシンポジウムの受講により介護への理解を深め、介護力を強化した働く家族を680名養成する。							
事業の内容	少子高齢化の進展するなか、介護を社会全体で支えていくためには、現役で働く家族 (労働者) も家庭や地域の一員として介護に関する理解や意識改革が不可欠であることから、働く家族や経営者等に対する介護力強化セミナーの開催等により、突然介護に直面した場合にも役立つ介護サービス等の具体的情報について周知を強化し、介護への理解を深めるとともに、将来の地域の貴重な人材 (即戦力) として、介護や生活支援の担い手養成を目指す。							
アウトプット指標	○介護力強化セミナーの開催 (経営者・人事管理者・企業の従業員等働く家族向け) 10回 ○介護力強化シンポジウムの開催 1回 ○専門家派遣による働く現場の支援 20事業所							
アウトカムとアウトプットの関連	忙しく働く従業員等がセミナーへの参加等により介護力を向上させるためには、使用者側の理解と協力が必要であることから、企業へのきめ細かな個別訪問等により、まず使用者側に介護不安の解消や離職防止が経営上のメリットももたらすことを理解していただき、企業ぐるみでの積極的な参加を促すとともに、セミナー参加者の増に繋げる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		15,755				
		基金	国 (A)				(千円)	
			都道府県 (B)				(千円)	(千円)
			計 (A+B)				(千円)	10,503
その他 (C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)				
						10,503		
備考 (注3)	(執行額) R4 : 15,755 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした 介護の職場体験事業									
事業名	【No.6 (介護分)】 福祉・介護人材確保対策事業 (介護等の仕事魅力発見事業)				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,801 千円					
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県									
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)									
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日									
背景にある医療・介護ニ ーズ	福祉・介護人材の需要が増加する中で、事前の理解不足による早 期離職の防止や福祉・介護分野を将来の選択肢として考える若年 層の増加を図る。									
	アウトカム指標：福祉・介護分野への入職希望者									
事業の内容	事業所見学・介護体験バスツアー事業 (広く介護に関心を持つ 者を対象として、介護事業所等を見学・介護を体験するバスツ アーを実施する。) 職場体験事業 (愛媛県福祉人材センターの求職登録者や地域の潜 在的な介護の担い手である主婦層、第2の人生のスタートを控え た中高年齢層等を対象に、介護事業所等の職場体験を実施し、正 しい理解に基づく就職を支援する。) ジョブフェスの開催 (介護分野での就職に関心ある学生や保護 者、一般の求職者を対象に、具体的な仕事の内容や事業所等の説 明等を実施し、仕事への理解を深め就職に繋げる。)									
アウトプット指標	バスツアー、職場体験及びジョブフェスへの参加者数 バスツアー開催数：6回、参加者数：15名/回×6回=90名 職場体験者数：120名、ジョブフェス参加者数：200名									
アウトカムとアウトプット の関連	バスツアー、職場体験及びジョブフェスを通じて、事業所の雰 囲気や実際の業務についての正しい理解を促し、早期離職の防止 や、興味関心の向上につながる。									
事業に要する費用の額	金 額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国 費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)			
		(A+B+C)		2,801			民	(千円) 1,867		
		基金	国 (A)			(千円)			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円) 1,867
			都道府県 (B)			(千円) 934				
		計 (A+B)		(千円) 2,801		その他 (C)	(千円)	(千円) 1,867		
その他 (C)		(千円)								
備考 (注3)	(執行額) R4 : 2,801 千円									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 参入促進のための研修支援 (小項目) 介護未経験者に対する研修支援事業							
事業名	【No.7 (介護分)】 介護雇用プログラム推進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 70,824 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (人材派遣会社)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護に関して一定の知識等を有し、即戦力となる介護人材の確保を図る。							
	アウトカム指標：介護職員初任者研修の修了者数 40人							
事業の内容	求職活動を行っている者を対象に、介護プログラムに参加する人を募集、雇用し、介護事業所・施設へ紹介予定派遣を行うとともに、当該参加者が、派遣期間中に働きながら介護職員初任者研修を修了できるよう支援するとともに、派遣期間終了後も派遣事業所等で就業できるよう促す。							
アウトプット指標	介護サービス事業所への求職者の派遣人数 40人							
アウトカムとアウトプットの 関連	求職者を介護事業所に派遣させ、働きながら介護に関する資格を取得させることにより、介護事業所にとって即戦力となる人材を確保する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		基金	国 (A)				(千円)	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)	
			計 (A+B)				(千円)	
		その他 (C)		(千円)			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
						47,216		
備考 (注3)	(執行額) R4 : 70,824 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 介護分野での就労未経験者の就労・定着促進事業						
事業名	【No.8 (介護分)】 地域の介護人材参入・定着促進事業 (介護員養成研修受講促進事業)				【総事業費 (計画期間の総額)】 5,048 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県						
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)						
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	県内の介護事業所が、補助的業務等に従事している初任段階の介護従事者に、介護職員初任者研修を受講させる人材育成の取組に助成することにより、介護従事者の資質向上と離職防止を図る。						
	アウトカム指標: 介護職員初任者研修を受講させる人材育成に取り組む事業所数の増						
事業の内容	県内の介護事業所に勤務する介護職員が、介護職員初任者研修を修了した場合に、当該研修の受講費用を助成する。 (補助率 2/3、上限 5.5 万円/人)						
アウトプット指標	介護職員初任者研修受講促進事業助成者数: 100 名						
アウトカムとアウトプットの関連	県内の介護事業所で補助的業務等に従事している初任段階の介護従事者に、介護職員初任者研修を受講させる人材育成の取組に助成することにより、事業所における無資格の介護従事者の割合を引き下げる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)	
		基金	国 (A)	(千円)		公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県 (B)	(千円)			(千円)
			計 (A+B)	(千円)			うち受託事業等 (再掲) (注2)
		その他 (C)		(千円)			(千円)
					3,943		
備考 (注3)	(執行額) R4: 5,048 千円						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 地域のマッチング機能強化 (小項目) 多様な人材層(若者・女性・高齢者)の参入促進事業 (イ) 多様な人材層(若者・女性・高齢者)に応じたマッチング機能強化事業						
事業名	【No.9(介護分)】 福祉・介護人材確保対策事業 (介護等人材マッチング事業)			【総事業費 (計画期間の総額)】 13,757千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県						
事業の実施主体	愛媛県(愛媛県社会福祉協議会)						
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	福祉・介護人材の需要が増加する中で、求職者と求人事業所の相互の情報不足のために就業に至らない状態を解消する。						
	アウトカム指標：福祉人材センターを通じた就職者数						
事業の内容	キャリア支援専門員派遣・出張相談事業(県内7か所のハローワーク、県内外の学校等にキャリア支援専門員を派遣し、出張相談を行うほか、各事業所を戸別訪問の上、適切な求人求職支援を行い、ハローワークとの連携を深め、各地域における介護人材確保につなげる。また、県外在住者に対し、就職活動に要した経費の交通費の半額を助成し、本県での就職を促進する。)						
アウトプット指標	キャリア支援専門員の派遣回数：各所月1回						
アウトカムとアウトプットの関連	ハローワークを訪れる求職者に対して、福祉・介護分野の情報を提供することにより、当該分野への入職希望者には適した事業所を紹介し、福祉・介護分野を選択肢として考えていない者には興味を抱かせる機会を提供できる。また、事業所に対して、労務管理や人材確保の助言を行うことで、事業所が効果的な求人活動を行うことができる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費(A+B+C)		(千円)	基金充当額(国費)における公民の別(注1)	公	(千円)
		基金	国(A)	(千円)		民	(千円)
			都道府県(B)	(千円)			9,171
			計(A+B)	(千円)			うち受託事業等(再掲)(注2)
		その他(C)	(千円)	9,171			
備考(注3)	(執行額) R4: 13,757千円						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修の受講等支援事業 (イ) 介護に関する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的支援事業						
事業名	【No.10 (介護分)】 介護に関する入門的研修受講促進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,451 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県						
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)						
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護未経験者に介護の基本的な知識や技術を身につけさせることで、介護分野参入のきっかけづくりや介護不安の払しょくを図る。						
	アウトカム指標：研修修了者数						
事業の内容	一般県民を対象に「介護に関する入門的研修」を受講させるとともに、修了者で就労を希望する者には福祉人材センターを通じて介護事業所とマッチングを行う。						
アウトプット指標	入門的研修 10回 参加者 100名						
アウトカムとアウトプットの関連	介護に関する入門的研修の実施により、介護分野への新規参入を促進し、人材確保につなげる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)	
		(A+B+C)		2,451			
		基金	国 (A)	(千円)		公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県 (B)	817			1,634
			計 (A+B)	2,451			うち受託事業等 (再掲) (注2)
その他 (C)		(千円)		1,634			
備考 (注3)	(執行額) R 4 : 1,634 千円						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修の受講等支援事業 (ハ) 介護の周辺業務等の体験支援							
事業姪	【No.11 (介護分)】 地域の介護人材参入・定着促進事業 (介護人材就労支援事業)				【総事業費 (計画期間の総額)】 8,932 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護職員が専門的業務に専念できるよう、地域の潜在的な介護人材であるシニアや子育てを終えた主婦、学生、障がい者など多様な人材を、介護周辺業務を行う「介護助手」として新たに育成することにより、労働環境改善と介護サービスの質向上を図る。							
	アウトカム指標：介護助手の継続雇用者数							
事業の内容	就労意欲のある一般県民が、介護の補助的な業務を行う介護助手として介護施設等で安心して働くことができるよう、介護施設等で基本的知識や技術を習得させるOJT研修を実施する。							
アウトプット指標	OJT研修 10施設 参加者40名							
アウトカムとアウトプットの関連	介護施設等でOJT研修を実施することにより、介護助手という新たな担い手を育成し、継続雇用につなげる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)		
		(A+B+C)		8,932		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円) 5,955	
		基金	国(A)	(千円)				5,955
			都道府県(B)	(千円)				2,977
			計(A+B)	(千円)				8,932
その他(C)		(千円)	5,955					
備考(注3)	(執行額) R4: 8,932千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 将来の介護サービスを支える若年世代の参入促進事業							
事業名	【No.12 (介護分)】 外国人留学生介護福祉士候補者学習支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,284 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 介護福祉士養成施設)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	福祉・介護人材の需要が増加する中で、介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生の学習支援を行い、介護人材の確保を図る。							
	アウトカム指標: 外国人介護福祉士候補者への学習支援の実施状況							
事業の内容	受入施設が行う外国人介護福祉士候補者の日本語学習や介護分野の専門学習、学習環境の整備等に要する経費に対して補助する。							
アウトプット指標	受入施設数: 3施設、受入人数: 40名							
アウトカムとアウトプットの関連	外国人留学生を受け入れた介護福祉士養成施設が、外国人介護福祉士候補者に対して実施する、日本語学習や介護分野の専門学習に要する経費を支援することにより、資格取得と県内での就職促進を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		基金	国 (A)	(千円)			1,523	(千円)
			都道府県 (B)	(千円)			761	
			計 (A+B)	(千円)			2,284	
		その他 (C)		(千円)				うち受託事業等 (再掲) (注2)
備考 (注3)	(執行額) R4: 2,284千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 外国人留学生及び特定技能1号外国人の受入環境整備事業								
事業名	【No.13 (介護分)】 外国人介護人材マッチング支援モデル事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,388 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (民間事業者)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	介護人材の需要が増加する中で、海外の教育機関等と県内介護施設等とのマッチングを支援し、介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生の受入拡大を図る。								
	アウトカム指標：外国人介護人材の受入数								
事業の内容	中国からの留学生の受入拡大に向け、現地の教育機関等と県内介護施設等との仲介役となるマッチングコーディネータを設置するとともに、現地で合同説明会を開催するほか、県の魅力や介護現場の様子、生活のしやすさなどをPRする動画を制作する。								
アウトプット指標	現地合同説明会の開催回数：2回								
アウトカムとアウトプットの関連	現地合同説明会を通じて、現地の教育機関や送り出し機関、留学生候補者と、県内介護施設や養成施設等とのマッチングを支援し、外国人介護人材の受入拡大を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		2,259
			計 (A+B)				(千円)		1,129
		その他 (C)		(千円)			3,388	うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
			2,259						
備考 (注3)	(執行額) R4 : 3,388 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修 支援事業 (イ) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業							
事業名	【No.14 (介護分)】 口腔ケアに係る介護人材資質向上支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,501 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県歯科医師会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	在宅医療・介護の推進、介護従事者の確保・資質の向上等、「効率的かつ質の高い介護サービス提供体制の構築」を図る。							
	アウトカム指標: 口腔ケアに関して専門知識を有する介護人材の確保							
事業の内容	介護事業所・施設介護職員の口腔ケアに対する資質向上を図るため、歯科医師又は歯科衛生士による訪問研修を実施するとともに、介護支援専門員及び介護職員を対象に、スクリーニングと食支援の連携体制構築のための研修会の開催や、口腔ケア講演会を開催する。							
アウトプット指標	口腔ケア研修等の開催回数 (60 回) 及び参加人数 (580 名)							
アウトカムとアウトプットの関連	歯科医師等が介護従事者を対象に口腔ケアに関する研修等を実施することにより、専門知識等を有する人材の育成を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		1,501				
		基金	国 (A)				(千円)	
			都道府県 (B)				(千円)	500
			計 (A+B)				(千円)	1,501
その他 (C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)				
備考 (注3)	(執行額) R4: 1,501 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修 支援事業 (イ) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業								
事業名	【No.15 (介護分)】 介護人材キャリアアップ支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,565 千円					
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県老人保健施設協議会)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	介護老人保健施設職員が介護現場で必要とされる知識や技術の習得するほか、職員の意欲向上とサービス向上等を図る								
	アウトカム指標: 介護現場で必要とされる知識や技術を習得した介護老人保健施設職員の確保								
事業の内容	サービス提供責任者として必要な知識等に関する研修会及び職員の意欲向上とサービスの向上等を目的とした講演会等の開催								
アウトプット指標	資質向上研修 10回 参加者 500名								
アウトカムとアウトプットの 関連	専門家を講師に招き職員の資質向上に係る研修等を実施することにより、介護現場で必要とされる知識や技術の習得を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		2,565			うち受託事業等 (再掲) (注2)		
		基金	国 (A)	(千円)				1,710	
			都道府県 (B)	(千円)					855
			計 (A+B)	(千円)					2,565
その他 (C)		(千円)							
備考 (注3)	(執行額) R4: 2,565 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修 支援事業 (イ) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業							
事業名	【No.16 (介護分)】 介護職員の資質向上研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 257 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県地域密着型サービス協会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護従事者の資質向上、効率的かつ質の高い介護サービス提供体制の構築を図る。							
	アウトカム指標: 質の高い介護サービスの提供							
事業の内容	介護分野の専門家を講師に招き、県内の介護職員を対象に、介護現場で必要とされる知識や技術の習得に関する合同研修会を開催する。							
アウトプット指標	各種専門研修 1回 参加者 100名							
アウトカムとアウトプットの 関連	県地域密着型サービス協会に属する介護職員等を対象にした各種専門研修を実施することにより、質の高い介護サービスの提供につなげる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		257			うち受託事業等 (再掲) (注2)	
		基金	国 (A)	(千円)				171
			都道府県 (B)	(千円)				86
			計 (A+B)	(千円)				257
その他 (C)		(千円)						
備考 (注3)	(執行額) R4: 257 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修 支援事業 (イ) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業							
事業名	【No.17 (介護分)】 介護施設で働く看護職員の研修支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 873 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県看護協会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	高齢化が進展する中、介護施設では入所者の人生の最期まで支援していく施設が増えてきており、人生の最期にある入所者及び家族の意思を尊重しながら、安全で良質なケアを提供し、施設での高齢者の支援体制の構築を図る。							
	アウトカム指標: 介護施設における看護ケアの向上							
事業の内容	①緩和ケア研修 看護職員のキャリアアップを図るため、緩和ケアに関する研修を実施する。 ②看護リーダー研修 介護施設において、安全で良質なケアを提供するための看護リーダー研修を開催し、自施設で多職種と連携して「終末期ケア」等の方針、基準手順作成を行う。							
アウトプット指標	緩和ケア研修修了者 (120名/年) 看護リーダー研修修了者 (100名/年)							
アウトカムとアウトプットの 関連	看取り研修及び看護リーダー研修を充実させることにより、各施設で提供される看護ケアの質の向上を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲) (注2)		
		(A+B+C)		873			(千円)	
		基金	国 (A)				(千円)	582
			都道府県 (B)				(千円)	291
			計 (A+B)				(千円)	873
その他 (C)		(千円)						
備考 (注3)	(執行額) R4: 873 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業 (大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (ハ) 介護支援専門員資質向上研修				
事業名	【No.18 (介護分)】 介護支援専門員養成研修等事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 6,964 千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県				
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県介護支援専門員協会、補助先: 愛媛県社会福祉協議会)				
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日				
背景にある医療・介護ニーズ	介護保険制度運用の要として、介護支援専門員には、一層の資質向上が求められていることから、実践的研修により専門性を高め、地域包括ケアシステムの実現を図る。 アウトカム指標: 介護支援専門員実務研修における達成度 (修了評価): 4段階評価で平均3.0以上				
事業の内容	<p>○介護支援専門員指導者検討会 介護支援専門員を対象とした法定研修 (実務研修、専門研修 (課程I・II)、更新・再研修、主任・主任更新研修) の実施方法、指導方針の協議を行い、研修の質の向上を図る。</p> <p>○主任介護支援専門員研修強化費 主任介護支援専門員研修・更新研修に係るファシリテーター (講師級) 配置等、研修強化に要する経費分の補助を行う。</p> <p>○主任介護支援専門員実践力強化研修 主任介護支援専門員を対象に、実践力 (研究的手法、助言力、マネジメント力) の強化を図る。</p> <p>○介護支援専門員地域リーダー養成研修 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員を対象とした研修・演習を行い、県内各地域における主任介護支援専門員のリーダーを養成する。</p>				
アウトプット指標	<p>○介護支援専門員指導者検討会の開催回数: 2回</p> <p>○実習指導者養成研修の開催回数: 1回</p> <p>○介護支援専門員研修向上委員会の開催回数: 1回</p> <p>○介護支援専門員研修向上委員会検討部会の開催回数: 5回</p> <p>○主任介護支援専門員実践力強化研修の開催回数: 5回</p> <p>○指導者養成研修の開催回数: 2回</p>				
アウトカムとアウトプットの関連	介護支援専門員の指導者検討会や地域リーダー養成研修を開催し、介護支援専門員の指導に必要な知識や技能の向上を図り、指導を受ける介護支援専門員全体の質の向上を図る。				
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 6,964	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 (千円) 739
		基金	国 (A)	(千円) 4,643	民 (千円) 3,904
			都道府県 (B)	(千円) 2,321	
			計 (A+B)	(千円) 6,964	
			その他 (C)	(千円)	うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 1,056
備考 (注3)	(執行額) R4: 6,964 千円				

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 介護施設、介護事業所への出前研修の支援事業							
事業名	【No.19 (介護分)】 ノーリフティングケア普及啓発モデル事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 6,415 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境づくりを進めることにより、要介護者及び介護従事者双方の負担軽減とケアの質向上を図る。							
	アウトカム指標：介護従事者等の身体的負担の軽減							
事業の内容	福祉用具・機器などを活用し、持ち上げない・抱え上げない介護で腰痛予防に資するノーリフティングケアの研修を介護現場で実施する。							
アウトプット指標	啓発研修 県内 100 名 新規取組事業所育成研修 県内 12 事業所							
アウトカムとアウトプットの 関連	ノーリフティングケア研修の実施により、介護従事者等の身体的負担の軽減を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国 費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲) (注2)		
		(A+B+C)		6,415			(千円)	
		基金	国 (A)				4,277	(千円)
			都道府県 (B)				2,138	(千円)
			計 (A+B)				6,415	(千円)
その他 (C)			(千円)	4,277				
備考 (注3)	(執行額) R4 : 6,415 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 研修代替要員の確保支援 (小項目) 各種研修に係る代替要員の確保対策事業							
事業名	【No.20 (介護分)】 介護職員等資質向上支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 16,051 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (人材派遣会社)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護ニーズの増加及び多様化が見込まれる中、利用者のニーズに 的確に対応できる質の高い介護人材の安定的確保を図る。							
	アウトカム指標：介護職員の資質向上							
事業の内容	施設・事業所が介護職員を外部研修等に参加させる場合に、人材 派遣会社を通じてその代替職員を派遣する。							
アウトプット指標	代替派遣人数 30名							
アウトカムとアウトプットの 関連	介護職員が研修等に参加しやすい環境を整備することで、サービ スの質の向上とキャリアアップにつなげる。							
事業に要する費用の額	金 額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		16,051				
		基金	国(A)					(千円)
			都道府県 (B)					(千円) 5,350
			計 (A+B)					(千円) 16,051
その他(C)		(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円) 10,701					
備考(注3)	(執行額) R4: 16,051 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業										
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 潜在有資格者の再就業促進 (小項目) 潜在介護福祉士の再就業促進事業										
事業名	【No.21 (介護分)】 介護福祉士等応援コミュニティ設置等事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,949 千円						
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県										
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)										
事業の期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日										
背景にある医療・介護ニーズ	介護人材の需要が増加する中で、知識や経験を有し、介護現場で直ちに活躍が期待できる離職した介護人材の再入職を促す。										
	アウトカム指標：再入職希望者数										
事業の内容	平成29年4月から、離職した介護人材の届出システムによる情報提供や相談等の円滑なスタートを見据え、介護福祉士等応援コミュニティ「ケアワーカーズカフェ」＜ラジオ版・ミーティング版＞を実施し、介護の魅力や離職ゼロに向けた各種取り組みを幅広く周知するとともに、介護福祉士等に対する情報提供の強化、介護福祉士等応援コミュニティの構築を図る。										
アウトプット指標	届出システムの登録者数、ミーティングの参加者数										
アウトカムとアウトプットの 関連	届出システムの登録者やミーティングの参加者に対して、最新の介護分野の情報を提供することで、再入職の促進につながる。										
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)				
		基金	国 (A)				(千円)	1,966	(千円)		
			都道府県 (B)				(千円)			983	1,966
			計 (A+B)				(千円)				
		その他 (C)		(千円)			1,966	(千円)			
備考 (注3)	(執行額) R4: 2,949 千円										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業								
事業名	【No.22 (介護分)】 認知症地域医療支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 912 千円					
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県医師会)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	今後の認知症高齢者の増加が見込まれることから、関係団体等と連携の下、各地域における早期診断・早期対応のための体制整備を推進する。								
	アウトカム指標：認知症診療の知識を有する医師の確保								
事業の内容	かかりつけ医が適切な認知症診断の知識・技術等を修得するための研修及びかかりつけ医への助言その他の支援を行う認知症サポート医を養成するための研修を実施する。								
アウトプット指標	○認知症サポート医養成研修：10名養成 ○認知症サポート医フォローアップ研修：130名 ○かかりつけ医認知症対応力向上研修：200名								
アウトカムとアウトプットの 関連	認知症サポート医を養成することで、地域の認知症施策の体制整備を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		912					
		基金	国(A)				(千円)		(千円)
			都道府県(B)				304		
			計(A+B)				912		
その他(C)		(千円)		608					
備考(注3)	(執行額) R4: 912千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業									
事業名	【No.23 (介護分)】 認知症介護従事者養成事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,350 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県									
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県地域密着型サービス協会)									
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日									
背景にある医療・介護ニーズ	認知症高齢者の増加に伴い、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図るほか、認知症施策推進大綱において、良質な介護を担う人材の確保及び計画的な養成を行うこととされている。									
	アウトカム指標：認知症指導者養成研修了者数 (累計)									
事業の内容	介護施設等に従事する新任者、及び認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対する適切なサービス提供に関する知識及び技術等を修得するための研修を実施するとともに、研修指導者を養成するための研修に参加する経費を負担し、認知症介護に関する資質向上を図る									
アウトプット指標	○認知症対応型サービス事業管理者研修：200名 ○小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修：50名 ○認知症対応型サービス事業開設者研修：30名 ○認知症介護指導者フォローアップ研修：1名 ※ 指導者の技術向上を図るための研修									
アウトカムとアウトプットの関連	当該研修の講師となる認知症指導者養成研修修了者を増やすことで、事業所内のケアチームの指導者役となる「認知症介護実践リーダー研修」の充実した研修に繋げ、良質な介護サービスを提供できる人材の育成を図る。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)				
		(A+B+C)		1,350		公	(千円)			
		基金	国 (A)	(千円)				民	(千円)	
			都道府県 (B)	(千円)						900
			計 (A+B)	(千円)						450
その他 (C)		(千円)	1,350	うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)					
			900		900					
備考 (注3)	(執行額) R4: 1,350 千円									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業							
事業名	【No.24 (介護分)】 認知症対応力向上研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,465 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県歯科医師会、愛媛県薬剤師会、愛媛県看護協会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	専門職が高齢者等と接する中で、認知症の人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、容態の変化に応じて専門職の視点での対応を適切に行うことを推進する。(認知症施策推進大綱にて明記)							
	アウトカム指標：認知症の基礎知識を有する医療従事者の確保							
事業の内容	認知症の方への支援体制構築の担い手となることを目的に、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の方や家族を支えるために必要な基礎知識や医療と介護の連携の重要性等の知識を修得させる研修を実施する。							
アウトプット指標	認知症対応力向上研修参加者 780名							
アウトカムとアウトプットの 関連	専門職への認知症対応の研修を実施することにより、地域における認知症診療 (早期発見等) の充実を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)	
		基金	国 (A)				(千円)	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)	977
			計 (A+B)				(千円)	977
		その他 (C)		(千円)			977	
1,465		(千円)	977	977				
備考 (注3)	(執行額) R4: 1,465 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域における介護のしごと魅力発信事業							
事業名	【No.25 (介護分)】 介護情報提供体制構築事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 3,292 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (アプリ開発会社)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	これから家族の介護を始める方に向けたコンテンツ「はじめての介護」の他、介護従事者に向けては、介護技術に関する情報に加え仕事と育児や介護の両立の関する相談窓口の案内やお悩み相談用の掲示板の設置等の就労支援に関する情報、地域住民に向けては、市町が実施する介護に関するイベント情報の発信等、多様な年齢層かつ地域住民から介護従事者まで様々な立場の方に向け、介護に関する情報を総合的に発信する。							
	アウトカム指標： 介護に関する情報について、多様な世代に向けて発信する。							
事業の内容	介護情報スマホアプリ及びPCサイト版の運営							
アウトプット指標	スマホアプリ利用者登録者数							
アウトカムとアウトプットの 関連	スマホアプリの利用登録者を増やすことで、これから介護就労する学生世代、現在介護業務に従事されている方、家族の介護を行っている方等、広い世代かつそれぞれの立場で役立つ情報を発信し、介護の担い手の確保に繋げる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		3,292				
		基金	国(A)				(千円)	
			都道府県 (B)				(千円)	
			計 (A+B)				(千円)	
3,292				うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)			
その他(C)		(千円)			2,195			
備考(注3)	(執行額) R4: 3,292 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材育成 (小項目) 権利擁護人材育成事業 (イ) 認知症高齢者等権利擁護人材育成事業							
事業名	【No.26 (介護分)】 法人後見推進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 250 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 愛媛県社会福祉協議会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	成年後見制度の利用者は、高齢化や障がい者の地域移行などに伴い増加しているが、弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職による対応だけでは難しく、成年後見人等の担い手として法人後見の充実を推進する。							
	アウトカム指標: 法人後見制度実施状況 20市町							
事業の内容	法人後見を実施するための身近なエリアである東予・中予・南予の3か所で、法人後見の実現可能な法人の抽出と、法人同士の連携促進を図ることを目的として、学習会及び相談会を実施する。							
アウトプット指標	○アドバイザーによる個別指導実施団体: 5団体 ○権利擁護推進のための担い手養成学習会: 1回							
アウトカムとアウトプットの 関連	法人後見制度の未実施市町にアドバイザーによる法人後見立ち上げ団体等への個別指導を実施し、県下全域での法人後見制度の普及・事業実施を推進する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国 費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		250			うち受託事業等 (再掲) (注2)	
		基金	国 (A)	(千円)				167
			都道府県 (B)	(千円)				83
			計 (A+B)	(千円)				250
その他 (C)		(千円)		(千円)				
備考 (注3)	(執行額) R4: 250 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材育成 (小項目) 権利擁護人材育成事業 (ロ) 介護相談員育成に係る研修支援事業							
事業名	【No.27 (介護分)】 現任介護サービス相談員研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 160 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	介護サービスの質の向上を図るため、市町に登録された介護相談員が適切に業務執行できるよう、業務に必要な知識等を習得させる研修を実施する。							
	アウトカム指標：研修実施回数：2回							
事業の内容	県内の介護相談員に必要な知識や技術を習得させるとともに、介護サービス相談員相互の情報・意見交換等を行うことにより、相談員の資質向上等を図る。							
アウトプット指標	現任介護サービス相談員研修修了者数：50名							
アウトカムとアウトプットの 関連	介護サービスの質の向上を図るため、研修の受講機会を創出し、1人でも多くの相談員に研修を受講いただく。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)		
		基金	国 (A)	(千円)			107	
			都道府県 (B)	(千円)				53
			計 (A+B)	(千円)				
		その他 (C)		(千円)			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
			107					
備考 (注3)	(執行額) R4: 160 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 緊急時介護人材等支援 (小項目) 新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業						
事業名	【No.28 (介護分)】 介護事業所等サービス提供体制確保事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 237,284 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県						
事業の実施主体	愛媛県						
事業の期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	介護サービスは、高齢者やその家族の生活を支えるために必要不可欠なものであることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた介護サービス事業所・介護施設等が、新型コロナウイルス感染症の感染機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供できるよう支援していくことが必要。						
	アウトカム指標： 介護サービス事業所における通常の業務では想定できない、感染症対策に伴うかかり増し経費等に対する支援						
事業の内容	通常の介護サービス提供時では想定されない、感染症対策に係るかかり増し経費等に対して補助を行う						
アウトプット指標	新型コロナウイルス感染症の流行下においても介護サービスの提供を継続する事業所に対し、迅速かつ適切に支援を行う。						
アウトカムとアウトプットの関連	支援が必要な高齢者に対し、介護サービス提供が継続できるよう、必要な支援を迅速かつ適切に行う必要がある。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)	
		(A+B+C)		273,284		182,189	
		基金	国(A)	(千円)		公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県(B)	(千円)			91,095
			計(A+B)	(千円)			273,284
その他(C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)			
備考(注3)	(執行額) R4: 88,862 千円 R5: 184,422 千円						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 長期定着支援 (小項目) 介護職員長期定着支援事業 (ハ) 若手介護職員交流推進事業							
事業名	【No.29 (介護分)】 福祉・介護関係事業所合同入職式				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,473 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (愛媛県社会福祉協議会)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	福祉・介護人材の需要が高まる中で、将来の中心的担い手となる入職間もない人材の離職を防ぐ。							
	アウトカム指標：合同入職式参加者の離職数							
事業の内容	県内の福祉・介護関係事業所へ入職した新任職員を集め、関係機関代表者からの激励、新任職員の決意表明、先輩職員からの応援、記念撮影をプログラムとした式典、福祉・介護分野の専門家等による講演会、参加者の交流会を行い、新入職員のモチベーションの向上、やりがいの発見、ネットワークの構築を図る。また、入職式から一定期間後には、フォローアップを行い、継続した離職防止・定着促進を行う。							
アウトプット指標	合同入職式参加者数							
アウトカムとアウトプットの 関連	合同入職式に参加することで業務についてのモチベーションが高まり、事業所を越えたネットワークを構築することにより、離職防止が図られる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)		
		(A+B+C)		1,473				
		基金	国 (A)	(千円)		982	民	(千円)
			都道府県 (B)	(千円)		491		982
			計 (A+B)	(千円)		1,473		うち受託事業等 (再掲) (注2)
その他 (C)	(千円)		982					
備考 (注3)	(執行額) R4: 1,473 千円							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業								
事業名	【No.30 (介護分)】 ICT活用による介護職場環境改善支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 6,553 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (民間事業者)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	福祉・介護人材の需要が増加する中で、介護事業所での生産性向上が急務とされていることを受け、ICT活用による利用者情報の共有化等により事務作業省力化等の取組みを支援する。								
	アウトカム指標：ICTを導入した事業所数								
事業の内容	ICT普及促進に向けた事業者向けセミナーの開催やタブレット端末やクラウドサービス等のICTを導入する意向のある事業所にシステム環境整備に関する相談・支援を行うアドバイザーを派遣することにより、介護職員等のワークスタイル改革や職場業務改善を進める。								
アウトプット指標	アドバイザー派遣事業所数：50 事業所								
アウトカムとアウトプットの関連	専門家をアドバイザーとして派遣することにより、管理的問題に関して事業所が抱える問題の解決等が行われ、職場環境の向上につながる。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		6,553					
		基金	国 (A)	(千円)			に お け る 公 民 の 別 (注1)	民	(千円)
			都道府県 (B)	(千円)					4,369
			計 (A+B)	(千円)					2,184
その他 (C)	(千円)	6,553	うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)					
					4,369				
備考 (注3)	(執行額) R4: 6,553 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (ロ) 介護ロボット導入支援事業								
事業名	【No.31 (介護分)】 介護業務支援機器導入促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 67,754 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 県内介護サービス事業所)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	介護従事者の身体負担を軽減し、働きやすい職場環境を推進する。								
	アウトカム指標: 介護ロボット導入により負担軽減につながった事業所数								
事業の内容	介護従事者の負担の軽減を図るなど、働きやすい職場環境を推進するため、介護ロボットを計画的に導入し、その効果を検証する先駆的な取組を行う介護事業者に対して、介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費を補助する。								
アウトプット指標	県内介護事業所へ導入したロボットの数								
アウトカムとアウトプットの 関連	介護ロボットの導入を支援することで、介護事業所への導入を促進するとともに、アンケート等を通じて介護職員の身体負担の軽減や働きやすい職場環境改善に有効かどうかを検証する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		67,754			45,169		
		基金	国(A)	(千円)				45,169	
			都道府県 (B)	(千円)					45,169
			計(A+B)	(千円)					
その他(C)		(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)					
備考(注3)	(執行額) R4: 67,754 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (ハ) ICT 導入支援事業								
事業名	【No.32 (介護分)】 I C T機器導入促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 119,521 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全県								
事業の実施主体	愛媛県 (補助先: 県内介護サービス事業所)								
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	I C T機器の活用により、深刻な人材不足に悩む介護現場の負担軽減を図る。								
	アウトカム指標: 介護現場における負担軽減度								
事業の内容	業務効率化に資する介護業務の I C T化システムを構成するモバイル機器やソフトウェア等の購入又はリースに係る経費の一部を助成する。								
アウトプット指標	I C Tを導入した事業所数								
アウトカムとアウトプットの 関連	I C T機器の活用により介護現場の負担軽減を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当 額 (国 費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		119,521			79,861	(千円) 79,861	
		基金	国 (A)	(千円)					うち受託事業等 (再掲) (注2)
			都道府県 (B)	(千円)					
			計 (A+B)	(千円)					
その他 (C)		(千円)		(千円)					
備考 (注3)	(執行額) R4: 119,521 千円								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 介護職員長期定着支援事業 (小項目) (ロ) 介護事業所におけるハラスメント対策推進事業							
事業名	【No.33 (介護分)】 介護事業所等におけるハラスメント対策支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 996 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全県							
事業の実施主体	愛媛県 (民間事業者)							
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	利用者や家族等による介護職員へのハラスメントが原因で、離職等を招いている。							
	アウトカム指標： 介護職員数 31,592 人 (令和5年度末における必要数)							
事業の内容	・研修会の開催 (年3回) ・ハラスメント相談窓口の設置							
アウトプット指標	研修会への参加者数、窓口相談対応件数							
アウトカムとアウトプットの関連	入職した介護職員を長期間確保するため、ハラスメントによる離職者を少なくする必要がある。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)		
		基金	国 (A)	(千円)		公	(千円)	
			都道府県 (B)	(千円)			民	(千円)
			計 (A+B)	(千円)				うち受託事業等 (再掲) (注2)
		その他 (C)	(千円)	(千円)				
備考 (注3)	(執行額) R4: 996 千円							